

## 公立大学法人秋田県立大学 教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 木材高度加工研究所
3. 専門分野 本公募では、木質のリグノセルロースに関して有機化学的な分析および解析手法の基礎を身につけ、自由な発想でセルロース、リグニン等の木材成分の効率的な分離技術や化学工学的改変に関する研究を遂行できる能力を有し、かつ、その分野における学部、大学院教育を担当できる人材を求めます。
4. 担当講義 主に大学院の講義を担当。担当科目は採用内定者の専門等を考慮して決定します。
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3)国籍は問わないが、日本語に堪能であること  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和3年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制（本学給与規程による。）  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1による。\*）  
(2)研究業績書（本学所定の様式2による。\*）研究業績は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○を付けて下さい。  
(3)主要論文3編（コピー可）  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1000字程度）  
(5)教育に対する抱負（1000字程度）  
(6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注）\*印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<http://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照下さい。
9. 応募締め切り 令和2年10月30日（金）必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、プレゼンテーション・選考委員会による面接  
(2)第二次選考 プレゼンテーション・役員による面接  
※第一次選考のプレゼンテーション・選考委員会による面接はオンラインで実施する場合があります。  
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問合せ先  
〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂 11-1  
秋田県立大学木材高度加工研究所教員選考委員会  
TEL：0185-52-6900、FAX：0185-52-6924、E-mail：koubo@iwt.akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

（女性活躍推進行動計画：<https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/joseikatsuyaku.pdf>）

（子育て支援等行動計画：[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/R2\\_kosodate.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/R2_kosodate.pdf)）

今回の公募で求める人材像

(木材高度加工研究所 木質科学グループ)

木材高度加工研究所は設立以来、「地球規模の理想的な木質資源循環系の確立」という理念のもと、「秋田県の木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立」を目的として、木材の高度加工に関する研究に取り組んできました。

今回の公募においては、木質のリグノセルロースに関して有機化学的な分析および解析手法の基礎を身につけ、自由な発想で有用化学物質の取得や機能性木質材料の開発に不可欠な木材化学に関する研究を主体的に推進するとともに、関連する分野の研究に積極的に参画し、木材高度加工研究所内外の研究者と連携してそれらの研究を推進することによって、森林・木材研究の持続的な発展・深化に寄与しうる人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 木材高度加工研究所の研究グループ構成

木材高度加工研究所の研究グループは、学部のような大講座制とは所属形態が異なり、所内外の研究者や民間企業等とアドホック的なチームを形成して研究を進めております。例えばCLTのプロジェクトでは、製造を担当する研究者とそれを用いた構造の研究者とが何人か集まってチームを組みます。したがって、研究グループとしては木質科学研究の1グループのみとなります。今回の公募ではこのグループの助教が対象となります。

なお、構成員の専門分野は以下のとおりです。(令和2年7月1日現在)

- ・ 高田克彦 教授 (所長) : 森林資源学、森林遺伝学
- ・ 中村 昇 教授 : 木材・木質材料学、木質構造学、木材燃焼
- ・ 山内 繁 教授 : 分析化学、無機化学
- ・ 栗本康司 教授 : 木材化学工学
- ・ 山内秀文 教授 : 木質材料学、木質材料加工学
- ・ 渡辺千明 准教授 : 木質工法、地域防災学
- ・ 岡崎泰男 准教授 : 木材工学
- ・ 澁谷 栄 准教授 : 木材保存学、木材化学
- ・ 川井安生 准教授 : 木材乾燥、木材物性
- ・ 足立幸司 准教授 : 木材加工学、木質材料学
- ・ 野田 龍 准教授 : 森林土木学、木材工学
- ・ 工藤佳世 助教 : 樹木組織学、樹木生理学